

富山高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	総合英語 I
科目基礎情報						
科目番号	0015		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	電気制御システム工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	3		
教科書/教材	『MY WAY English Communication English I』（三省堂）、『同 Workbook』『同CD』					
担当教員	富田 尚					
到達目標						
・コミュニケーション活動に必要な基本的な語彙や文法事項などを理解し、実際に活用できる。（語彙・文法力） ・英語を読んで、情報や書き手の意向などを理解し、概要や要点をとらえることができる。（読解力） ・聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどを、英語を使って書くことができる。（表現力） ・英語の音声的な特徴に注意しながら発音することができ、まとまりのある文章を音読したり暗唱したりできる。（発音・音読） ・英語を聞いて、情報や話し手の意向などを理解したり、概要や要点をとらえたりする。（聴解力）						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
語彙・文法力	英語を読む、書く、聞く、話す際に必要となる語彙・文法・構文が十分身についている。		英語を読む、書く、聞く、話すことが概ね可能な語彙・文法・構文が身についている。		語彙や文法力が不足していて、英語を読む、書く、聞く、話すことが困難である。	
読解力	まとまった英文を読んで、情報や書き手の意向などを理解し、概要や要点をとらえることができる。		まとまった英文を読んで、情報や書き手の意向などを部分的に理解し、概要や要点を大まかにとらえることができる。		まとまった英文を読んで、文章全体の概要や要点をとらえることができない。	
表現力	基本的な語彙や文法事項を活用して、情報や自分の考えなどを、ある程度の分量の英文で書いたり発表したりできる。		基本的な語彙や文法事項を活用して、情報や自分の考えなどを、1～2文程度の英文で書いたり発表したりできる。		情報や自分の考えなどを、英語で書いたり発表したりできない。	
発音・音読	英語の音声的な特徴に注意しながら発音することができ、まとまりのある文章を聞き手に伝わるように、音読したり暗唱したりできる。		単語はほぼ正確に発音することができ、まとまりのある文章を、語句の切れ目を意識して音読できる。		正しく発音できる単語もあるが、まとまりのある文章を、語句の切れ目を意識して音読することができない。	
聴解力	英語を聞いて、情報や話し手の意向などを十分理解し、概要や要点をとらえることができる。		英語を聞いて、情報や話し手の意向などを部分的に理解し、概要や要点を大まかにとらえることができる。		英語を聞いて、単語など断片的に理解できるが、概要や要点をとらえたりすることはできない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えを英語で話したり書いたりして伝える基礎的な能力を養う。					
授業の進め方・方法	講義及び演習					
注意点	・教科書、ワークブック、英和辞典を必ず持参すること ・予習・復習を欠かさないこと ・付属のCDを何度も聞き、音読を繰り返すこと。 ・提出物は様式を守り、提出期限を厳守すること。また、文字は丁寧に書くこと。 ・TOEIC Bridgeを受検すること ・授業計画は学生の理解度に応じて変更する場合がある。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	オリエンテーション Lesson 1 A Story about Names		授業概要説明 Section 1	
		2週	Lesson 1		Section 1	
		3週	同上		Section 2	
		4週	同上		Section 3	
		5週	L2 Messages from Yanase Takashi		Section 1	
		6週	同上		Section 2	
		7週	同上		Section 3	
		8週	中間試験		学習範囲のテスト	
	2ndQ	9週	中間試験返却 L3 Purposes of the Olympics		中間試験解説 Section 1	
		10週	L3		Section 2	
		11週	同上		Section 3	
		12週	L4 Hospital Art		Section 1	
		13週	同上		Section 2	
		14週	同上		Section 3	
		15週	音読テスト、アンケート		学習範囲の音読テスト、アンケート	
		16週	期末試験		学習範囲のテスト	
後期	3rdQ	1週	L5 Writing Systems in the World		Section 1,2	
		2週	同上		Section 3,4	
		3週	L6 Washoku – Traditional Japanese Dishes		Section 1,2	
		4週	同上		Section 3,4	
		5週	L7 From Landmines to Herbs		Section 1,2	
		6週	同上		Section 3,4	

		7週	同上	review
		8週	中間試験	学習範囲のテスト
	4thQ	9週	TOEIC Bridge	TOEIC Bridge実施
		10週	L8 A Mysterious Object from the Past	Section 1,2
		11週	同上	Section 3,4
		12週	L9 Sesame Street	Section 1,2
		13週	同上	Section 3,4
		14週	同上	review
		15週	音読テスト、アンケート	学習範囲の音読テスト、アンケート
		16週	期末試験	学習範囲のテスト

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	2	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	2	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	2	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	2	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	2	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	2	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	2	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	2	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	2	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	2	

評価割合

	試験	小テスト・課題提出	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0